

看護部教育研修（院内）

目的				
I. 看護職員が組織人としての自覚を持ち、専門職業人として成長し、自己実現ができる能力を養う。(知識・技術・態度)				
II. 患者および家族に安全で質の高い看護を提供できるように、それぞれの立場を段階に応じて教育を行う。				
コース	対象 目安	目的	目標	方法
ラダー教育	新人	新人看護師 I.基本的なケアマニュアルに従い必要な助言を得て看護実践する II 自律した看護実践ができる	I. 病院理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる II.看護に必要な知識・技術を修得し、マニュアルに沿った助言を受けて、安全に看護を提供できる III.チームメンバーとしての役割を理解し、助言を受けて協働できる IV. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	オリエンテーション 講義 技術演習 ロールプレイ OJT レポート
	レベルⅠ	卒後2～3年目 I.基本的なケアマニュアルに従い必要な助言を得て看護実践する II 自律した看護実践ができる	I. 病院理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる II.看護に必要な知識・技術を修得し、マニュアルに沿った助言を受けて、安全に看護を提供できる III.チームメンバーとしての役割を理解し、助言を受けて協働できる IV. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る IV.自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる	オリエンテーション 講義 技術演習 ロールプレイ OJT レポート ポートフォリオ eラーニング
	レベルⅡ	卒後4年～5年 I.標準的な看護計画に基づき自立して看護実践する II.日替わりリーダーとして自立できる III.プリセプターができる	I.チーム目標達成に向け、自己目標をチーム目標に連動させ、目標達成に取り組める II.所属部署のルーチン業務を単独で実施できる III.チームにおける日々のリーダー的役割を認識し、協力を得て遂行できる IV.自己の課題を認識し、自主的に学習できる	講義 演習 グループワーク レポート OJT ポートフォリオ eラーニング
	レベルⅢ	レベルⅡ認定者 I.ケアの受け手にあう、個別的な看護を実践する II.チームリーダーができる III.主体的なチーム運営ができる	I.部署目標の達成に向け、自己目標をチーム目標に連動させ、目標達成に取り組める II.専門的な知識・技術を活用し、効果的かつ効率的な看護提供できる III.チームリーダーの役割を果たし、チーム内で発生した問題を解決できる IV.自己のキャリアを展望し、専門領域に関する学習に取り組める	事例 OJT ポートフォリオ eラーニング
	レベルⅣ	レベルⅢ認定者 I.幅広い視野で、予測的判断をもち看護を実践する II.所属部署でリーダーシップが発揮できる III.委員会活動を担当し、指導することができる	I.部署目標達成に向け、チーム目標の達成を目指し、指導的に関わる事ができる II.専門的な知識・技術を活用し、卓越した看護を提供できる III.複雑な状況を適切に判断し、自ら適切な行動をとることが、かつ組織横断的に指導的役割をとることができる IV.専門分野に関して知識を深めて、スタッフを指導できる	レポート OJT ポートフォリオ eラーニング
	マネジメントリーダー	管理・監督職	JNA マネジメントリーダー	
看護教育	臨地実習指導	・実習担当個々が、学生や後輩を育成するという意識を高め、相互の成長を図ることができる ・実習生が学びを得ることができる環境をスタッフ全員で取り組むことができる	看護学生の特性を理解できる 学校の目的目標に沿って看護学生に指導的関わりができる 看護学生の実習評価ができる 実習担当者への実習評価を行うことで、スタッフの指導の振り返りができる	学校との話し合い 学生の記録物の評価 学生アンケート集計
	看護研究	・看護の現象や事実を科学的に研究し看護実践活動に取り入れ看護の質の向上を図る	研究計画に沿って研究を行うことができる 研究成果を発表することができる 研究を進めるにあたり看護職員の研究意欲を高めることができる 研究成果を他の看護職員と共有し看護実践活動に反映できる	看護研究
	中途採用者 復帰者	・潜在的な学習意欲を引き出し学習活動を支援する	専門知識を高める為に自己研鑽する 他職員との知識の共有化を図る 基準に沿った看護技術を修得し実施できる	講義 演習 OJT ポートフォリオ